

# 福島に今 起こっていること

福聚寺 住職・作家

## 玄侑宗久



### 【げんゆう・そうきゅう】

1956年、福島県三春町生まれ。慶應義塾大学中国文学科を卒業。様々な仕事を経験した後、京都天龍寺専門道場に入門。2001年に『中陰の花』で芥川賞を受賞。近著に、エッセイ『仙崖無法の禪』(PHP研究所)、小説『光の山』(新潮社)などがある。2008年2月より福聚寺の第35世住職を務める。

福島第一原発事故から5年。今も4万3497人の福島県民が、県外での避難生活を続けています(2015年12月10日現在)。滝桜で知られる三春町に、玄侑宗久さんを訪ね、福島の現状を聞きました。

## 家族が分断されたままに…

**編集部** 家族が壊されたままということですか。

**玄侑** 玄侑さんが今、ここ福島で感じていることを伺いたいと思います。

**玄侑** ある雑誌に、「分断の壁は厚くないばかり」と書きました。福島の現状は、県外から来た人には分かりにくいいです。ここにいる人たちは元気ですか。要は、われわれはここにいない人ともいつしょに生きているという部分ですね。県内に残った人と県外に避難した人の分断の壁が、ますます厚くなっているということです。

例えば、息子が大阪で働いているとか、孫がフランスに留学しているとか、今は遠くにいても連絡が取れるじゃないですか。でも、放射能の解釈によつて起つた分断は、連絡が取り合えていないんです。法事なんかで「娘さんは元気ですか?」「若夫婦はどうしてますか?」と聞くと、途端に場の空気が変わるんです。「たぶん元気だろう」とか「札幌にいるらしい」とか、そういう言い方しかできませんね。

心という心情的なものとは拮抗する場面もあるはずなんです。

例えば、飲料水の放射性物質の制限値

は、事故後に10ベクレルまで下げられました。アメリカは1200ベクレル未満、EUは1000ベクレル未満ですよ。日本は、少なれば少ない方が安心だろうめようとする。それは、探せば探せるわけです。福島にいたらいで、やっぱり出なくてよかつたという、そういうデータもたくさんあります。

お互いかその思いを強めていきますから、この壁はどんどん厚くなっています。娘や息子がだいたいどこにいるかは分かついても、まったく連絡が取れていないという家族は本当に多いですよ。

## 別世界のこととを想像できるか

**編集部** 今ままでは両者の理解がすみません。

**玄侑** 福島に残った人と避難した人は、放射線の影響についての考え方にも大きな開きがあるように見えます。

**玄侑** 今は、学者が放射線量の解釈を放棄した状態です。国も放棄しています。日本に特徴的なことですが、常に「安心」と「安全」を並べて使いますよね。本来、安全は学問が担うべき基準であつて、安全

は、事故後に10ベクレルまで下げられました。アメリカは1200ベクレル未満、EUは1000ベクレル未満ですよ。日本は、少なれば少ない方が安心だろうめようとする。それは、探せば探せるわけです。福島にいたらいで、やっぱり出なくてよかつたという、そういうデータもたくさんあります。

お互いがその思いを強めていきますから、この壁はどんどん厚くなっています。娘や息子がだいたいどこにいるかは分かついても、まったく連絡が取れていないという家族は本当に多いですよ。

**編集部** 今までは両者の理解がすみません。

**玄侑** どの程度広い考え方ができるかと云ふことで、今は、自分の考え方で固まつてしまつているというか。世界を見渡しても、同じような分断を感じます。イスラム社会とキリスト教・資本主義社会の対立がそうですね。グローバリズムという言葉で、どちらか強いほうの考え方で世の中を覆いつくそうとするこ



イスラムについていえば、われわれ日本人に与えられているのは、アメリカ経由の情報です。サダム・フセインが大統領になる前の仕事を知っていますか？ 世界的な小説家だったんですよ。18か国語に翻訳されて、日本でも出版されています。

**編集部** 小説家だったのですか？

**玄侑** アメリカにしてみれば、そんなことを伝えるメリットはありません。だから、ほとんどの日本人は、フセインが小説家としてどれだけ人気があったかを知

らないし、悪の枢軸だというアメリカの言い分をうのみにしたわけです。

あのシャルリー・エブド襲撃事件<sup>※1</sup>で

も、犯人はどんでもないやつらだと思うでしょうけど、偶像崇拜を一切禁じて、具象の絵を描いてもいけないという世界のことが、われわれに想像できるかどうか。価値観がまったく違う別世界なんですね。別世界に生きる両者が、優勢な方の価値観で全体を覆おうとするから、暴力や横暴なことが生まれるんです。

## 価値観の違いを越えて

**編集部** 価値観が違う人たちが共存するためには、どうしていけばいいのでしょうか。

**玄侑** 福島で起こっている分断もそうだし、イスラムと西洋圏の分断もそうですけど、私は、価値観の違う者どうしの和合のあり方を提示している宗教が、道教<sup>※2</sup>じゃないかと思います。みなさんはたぶん、「道教なんて一体どこにあるんだ？」という感じだと思いますが、例えば、道教のシンボルは鶴と亀です。

**編集部** 日本人は、鶴と亀を、和合と長寿の縁起のいいシンボルとして使っていますね。

**玄侑** でも、よくよく考えると、鶴と亀は理解し合えない生き物どうしですよ。

鶴にしてみれば、泥の中をはいつくばつているやつとは話もしたくないかもしないし、亀にしてみれば、一本足で眠るやつなんか信用できるかと。冷静になれば、「このカップルが何でそんなにめでたいんだ？」と思うはずです。

分かり合えるはずのない鶴と亀ですが、それぞれは、得難いめでたさを持っているわけです。亀でいえば、甲羅の六角形が吉祥の形であつたり、蓬萊島<sup>※3</sup>の使いといわれたり。竜宮城に連れていくのも亀ですよね。鶴は鶴で、オスが鳴くと、メスが和音を作るよう鳴く。この声が天に届くといわれて、昔からめでたい鳥とされてきました。

鶴の考え方で、亀を説得しようとしても無理です。でも、考え方はこんなに違つても、仲良くすることは可能ではないかと思いますね。

※1: 2015年1月、イスラム教の預言者ムハンマドの風刺画を掲載したフランスの週刊誌『シャルリー・エブド』が襲撃された事件。

※2: 不老長生をめざす神仙術と原始的な民間宗教が結合し、老荘思想と仏教を取り入れ手形成された宗教(大辞林第三版より)。

※3: 古代中国で、東の海上にあって、仙人が住むといわれた島。

**編集部**

お互いが得がたい存在だと認め合つて、まずは、話もできていない状況から抜け出さなければいけないということでしょうか。

**玄侑** そうですね。

## 学問が最新の知見で いうべき

**編集部**

原発事故によって、家族だけではなく、コミュニティが崩れかけている地域もあるようですが。

**玄侑**

出て行っている人たちが若い世代ですから。場合によつては子どもを連れた若い世代ですし、福島の未来そのものですね。福島では双葉郡8町村、もつと広げると第一原発周辺の12市町村の行政をそのまま残そうとしているじゃないですか。チエルノブリでは、200以上上の町村をなくして、スラブティッチという新しい町をつくりましたが、そういう大胆なグラウンドデザインも描けませんでした。

各町村とも、避難している人に「最終

的に戻りますか?」と聞くと、「戻る」という人は10数%しかいないんですよ。

そのほとんどはお年寄りです。楢葉町のあるお寺さんは、檀家100軒のうち3軒しか戻っていないそうです。「絶滅するまで時間の問題です」といつています。

**編集部** 今、福島のために必要なことは何でしょうか。

**玄侑**

福島に住む人たちは、起こったこと、起こつてることを正確に把握してほしいという気持ちが強いと思います。でも、情報量は離れるほど少なくなるし、地元にいても時が過ぎれば薄れますから、どうしたつて風評になるのはしようがないですね。考えてみれば、われわれだって、正確に理解されて生きているとは思えません。誰だって風評の中で生きているようなものです。

ただ、やっぱり放射線の影響については、学者たちがもう一度、最新の知見をもつて、きつちりと伝えるべきです。今や心情的な分断になつてしまつていて、それを学問で埋めることは難しいかもしれません、このまま「安心できない

いから、安全ではない」ではますいですよ。

**編集部**

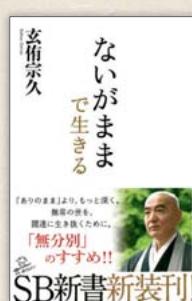
福島の問題を置き去りにしたまま、原発再稼動の動きも各地ですすんでいますのが…。

**玄侑**

今の政権は、「経済、経済」とい続けています。だから、原発もなくせないということでしょう。福島第二原発の廃炉も明言していませんから。福島第一も第二も失つたら、東京オリンピックはどうするのかという話なんでしょう。何よりも、この「経済病」みたいなものから逃れないといけません。

**編集部**

本日は、ありがとうございました。



5名様

玄侑宗久さんの  
サイン入り著書を  
プレゼント

『ないがまま生きる』  
(SB新書)

本誌綴じ込みハガキにてご応募ください。